

◎「保護者懇談会」各会場での意見・要望（質疑応答）

※再編問題と直接関係のない意見・要望は除く。

※その場で回答したものについては回答も記載。

採銅所小学校（8月27日（日）10:00～11:15）

- ・ふれあいモールから運動場を通り、隣の総合運動公園まで突き抜けるようになるということは、学校の敷地に誰でも自由に入れるようになるのか。ふれあいや利便性という面では便利がいいと思うが、正門からグラウンドに行く場合、職員室までが遠いので、大人の目が行き届かず、防犯の面が心配。
- 正面玄関からふれあいモール、運動場を抜けて、総合運動公園まで繋がってしまうのではないかと不安だと思うが、運動公園は夜間の利用もあり、そこからの進入もあるので、フェンスなどで仕切りたいと考えている。
- ・時制は小学生と中学生で違うので、6年生と7年生が隣り合うと、落ち着かない状況になったり、生活のリズムが変わったりするのではないか。
- 時間割については、教育課程部会で話し合いを行う。まだ部会での審議に入っていないが、現在は教務主任が集まって時間割について議論している。小学生は45分、中学生は50分で、休み時間なども違うが、例えば1・3・5時間目の始まりを合わせるなど、なるべく時間を合わせるよう対応していきたい。チャイム等の問題もあるが、大きな影響がないよう配慮していく。
- ・中学生になると体が大きくなるし、部活に入っている子は荷物も多いので、小・中同じ教室のスペースで考えているのであれば、7～9年生は少し広めなスペースにしていきたい。
- 低学年の部屋は、広い教室とし、教室内で全て完結するよう考えている。中学年は教室で勉強できるスペースと、多目的スペースを利用してグループ学習ができるよう考えている。高学年は、ロッカースペースを多目的スペースに取り出して、教室をフルに勉強できるスペースに確立することなどを考えている。低・中・高でつくりに変化を与えた設計を考えている。対格差については、我々もすごく考えていて、建築基準法的にも、小学生が上る階段は高さが違うので、中学生については少し歩きづらいかもかもしれないが、その辺は小学生に合わせた設計にするよう配慮を考えている。また、見通しを良くする事によって、衝突防止を避けるとか、事故がないよう考えている。貴重な意見なので、更に設計に反映させていきたい。
- ・配置について、体力的に高学年が上の階になるのか。
- どういうゾーニングにするかは、これから教育委員会と詰めていく。
- ・メディアセンターはどの程度の広さになるのか。9学年いるので、読みたい本が読めない状況が出てくると思うが、1つで足りるのか。各フロアに規模の小さいものを置くとか。十分な広さが確保されているのか。

→300㎡を目標に、1箇所配置で考えている。分散配置については教育委員会で検討されることと思うが、管理が行き届かないとか、書物の数の関係だと思う。ただ書架が並べられていて、閲覧デスクがあるというだけではなく、低学年に読み聞かせができる畳スペースや、寝転がって読めるようなコーナーをつくることも考え、子どもたちが入りやすいメディアセンターを目指してつくりたい。

・メディアセンターには司書が配置されるのか。

→法的に司書を配置するようになっているので、配置する。

・スクールバスについて、ルートや台数などが決まっていたら、もう少し詳しく教えてほしい。

→スクールバスについては、3つの専門部会うちの通学・学校運営支援部会で話し合いを進めている。台数については、試算では町全体で10台と考えている。採銅所は恐らく全体がスクールバスになるが、1台で回るのは厳しいので、数台で回ることを考えている。何キロ以上をスクールバスの対象にするかなどは、通学・学校運営支援部会の中で現在話し合いを行っている。また、体力面を考え、家の前まで迎えに行くのではなく、ある程度集合場所を決めて、そこまで歩いてもらうことを考えている。

・いつ頃までに決まるのか。

→平成30年3月までに対象距離や区域設定を決めたいと考えている。また、平成30年4月から1年かけて通学路の詳細を決め、開校1年前までには集団登校の班なども決めていきたい。平成32年4月にいきなり乗るのではなく、慣れていただくために開校前に試乗を考えている。

→スクールバスについては、敷地内に駐車場を確保することと、乗降場所に大きな庇を設け、雨の日でも濡れないようなつくりを考えている。

・ベランダはないのか。

→今回は、バルコニーはつくらない方向で進めている。中学生は喫煙などの問題もあるので、極力死角をつくらないことを考えている。

・3クラスということだが、将来的な児童数の増加や、特別支援学級が増えることも見越しているのか。

→クラス数については、平成52年度までの将来推計を出して決めている。少子化ということで、だんだん人数は減っていく。3クラスになる学年もあるが、全学年が3クラスになることはなく、だんだん全学年2クラスになっていくという推計となっている。特別支援学級については、増加傾向にあるので、そういったことも考慮して設計に反映させている。

→2学年を隣り合わせて6クラスを並べ、2クラスや4クラスになったときでも臨機応変に対応できるように考えている。建築的な配慮としては、教室と教室の間の壁はコンクリートで作らないので、将来的には取っ払って広くすることもできるし、仕切りを作って少人数に対応することもできる。臨機応変に対応できる建物を考えている。

- ・壊れにくいような素材で、頑丈につくってほしい。
- 設計の中に反映させていただく。
- ・学年集会をするスペースはあるのか。
- 通常の廊下の倍くらいの広さの多目的コーナーというオープンスペースを設けることで、学年ごとに集会が開けるよう考えている。それ以外にも、体育館で全校生徒、サブアリーナで2学年、ランチルームで2学年程度集まれるよう考えている。
- ・非常階段はどうなっているのか。
- 建築基準法では、二方向避難と言われており、必ずしも屋外に非常用階段があるということではなく、部屋から二方向に避難できることが大事。火事だけでなく、不審者が入ってきたときでも安全に逃げられるよう、階段を分散して、近い場所に2箇所階段を設けるという考え。1階に下りたときも、必ずしも昇降口から出るのではなく、廊下の突き当りを窓にしておいて、そこから出られるような計画をしている。そこはセキュリティと表裏一体なので、どういった管理をするのか考えなければならない。変な人間が屋外階段を通過して3階に行くということがないよう、階段は室内につくることを考えている。
- ・学童保育について具体的に決まっていたら教えてほしい。1つの部屋に集まって過ごすのか。採銅所は、3年生くらいまで採銅所に残るのか。
- この施設のみで、採銅所に残すということは考えていない。低学年2部屋、高学年2部屋を用意する予定で、可動式間仕切りを設置する。校舎とは別棟で建設することを検討している。
- 採銅所の分校化については、8月21日に町長を含めた総合教育会議が行われ、町長としては、1年生から本校に通って9年間過ごしてもらい、最初から同じ環境で慣れていった方がいいのではないかとということで、採銅所の分校化は考えていないということで決定した。
- ・いまの学童は靴を脱いでくつろぐことができるが、どうなるのか。
- 靴を脱いで、いまの学童のような雰囲気にくつろげるようにする。勉強ができるような長机を置くなど、広々と余裕を持ったつくりを考えている。
- いまの段階では、絨毯を敷いて横になったり、座って勉強ができるような形ではなく、フローリングで、机とイスを置くことを考えている。飯塚市にも視察に行ったが、そういう形がメインになっていた。低学年は絨毯でごろごろできるようなほうがいいのか、どちらがよいのか検討中。
- ・放課後だけなら、机とイスという形がいいと思うが、夏休みなど1日学童で過ごすときは、ずっとイスに座っていると疲れるので、床に座って勉強できる方がいいと思う。
- 低学年の高学年で使い方を変えることなども検討していきたい。その辺は総合的な意見を聞いて判断し、10月の説明会の時にはこういうふうにしますという方向を説明できるようにしたい。

町民センター

(8月27日(日) 14:00~15:00)

- ・運動公園と義務教育学校との関係はどうなるのか。一体化になるのか。
→運動公園とは別の施設になる。管理上、自由に出入できるようにするのではなく、フェンスで囲う。プールは運動公園のプールを利用するので、運動公園側に入口を1箇所設ける予定ですが、運動公園とは管理は別で考えている。
- ・いまの広さで9学年の対応ができるのか。
→運動公園のゲートボール場は、学校敷地としてグラウンドに取り込む計画としている。それ以外の部分は運動公園として、学校敷地とは別と考えている。
→中学生が使うグラウンドは野球グラウンドがすっぽり入る大きめで、小学生が使うグラウンドも別に整備するので、かなり大きなグラウンドができる計画となっている。
- ・トラックはひとつ何mくらいの大きさになるのか。
→計画では200m。運動会を6-3などで分けてするのはこれからの検討になると思うが、それくらいが十分入るスペースであることは確か。グラウンドを整備する時に、例えば野球のマウンドがあるところは少し盛り上がったたりするので、もう少しトラックの位置を配慮するなど、これから検討していく。
- ・部活動で野球やサッカーなどをすると、その時間帯は小学生がグラウンドを使えなくなるのではないか。
→部活動で全面使うということはないと思うが、小学生については、部活動をしているときは危ないということもあるので、小学生用のスペースを確保することなど、これから検討していきたい。
- ・運動公園の野球場を部活動で使うことはできないのか。
→その辺も、運動公園の野球場の活用について検討していきたい。
- ・球場横の多目的グラウンドでサッカーをするなど、小学生と一緒にだと怪我や事故のもととなるので、そのあたり配慮していただきたい。
→安全面については十分考慮していきたい。
- ・1クラス何人くらいになるのか
→1年生は35人、2~9年生は40人となっていて、実際香春町では40人満員のクラスになるかと言ったらそうではなく、平成52年までの推計では、1クラスの最大人数は33人となる見込み。3クラスになる学年もあるが、少子化ということで、平成52年までの課程の中で、全学年2クラスに推移していく試算となっている。
- ・採銅所などは、1クラス10人くらいから、急に30人くらいになるので、子どもたちの心のバランスが崩れた場合、ケアはどういうふうに行うのか。
→特に採銅所は人数が少なく、いまは少人数学級だと思う。また、これから4小2中が1つになるので、戸惑いもあるかと思う。いまはスクールソーシャルワーカーが各学校を回っている状況

だが、その先生が学校に常時いる状況になるし、スクールカウンセラーの先生もいるので、そういった専門の先生を通して、心配事の相談などができるかと考えている。ハード面では、通級指導教室という不登校に対応した教室などもつくってはどうかということで、教育委員会では話し合いを進めている。

→昨年度、一昨年度を通して、校区を隔てた学校同士で子どもたちが交流して一緒に学習するなど、連携して、準備をしている。

・スクールバスを運行する上で、朝の時間はだいたい同じだと思うが、下校時間は部活動を終えた生徒などバラバラだと思うので、その辺運行はどうなるのか。

→部活動に対応したスクールバスの運行を考えたいと思っている。いまも、香春中学校の生徒は西鉄バスの遅い便で帰っているという現状もあるので、スクールバスについても二段構えでしりたいと考えている。

・今日の説明会は、午前中の採銅所小学校で何人来たのか。

→参加された保護者の人数は3名。

・保護者の方に、一緒に行かないかという誘いをしたが、夏休み最後の日曜日にされるのは困るとか、子どもを一緒に連れてきていいかわからないと言われた。前回の説明会は平日の19時くらいに行われていて、その時間帯も、翌日学校に行かないといけないし来られないという人もいたので、今回日曜日にしたのだと思うが、夏休み最後の日曜日ということで、参加できないという保護者の方もいた。うちの場合は子どもを預けることができたのでゆっくり聞けたが、もっと聞きたいけど子どもと一緒に聞けないという保護者もいるので、託児を設けるなど、そういう親たちに配慮していただきたい。

→日程的に、夏休み最後の日曜日になってしまったというのは反省すべき点だと思う。日曜日に開催してほしいというのがアンケートにあったので、日曜日に開催したが、日程を調整した結果今日になってしまった。電話でも苦情が寄せられているので、その辺また十分配慮していきたい。

・町の人に、こういう校舎になるというお知らせは行うのか。保護者以外からも、ここをこうした方がいいなど、意見が出ると思う。

→今回は保護者の方をお願いして、学校に対してどのような考えを持っているのか、どういった要望があるのかを聞きたいと思って開催した。住民向けには、基本設計後に説明会を行いたいと考えている。

・1年生の教室が1階にあって、2階に2・3年生、3階に4・5年生がいる形になっているのか。

→学年の配置については打合せの最中。午前中に、体格差や体力差があるので、3階に6～9年生がいいのではないかという話もあったので、それも含めて各学年がどこに入るのか、もう少し教育委員会と議論が必要だと考えている。

・うちの次男がいま1歳なんですが、身体的な障がいがある。そういった障がいのある子に対して設計面で配慮はあるのか。

→身体的障がいをもった子や、車椅子の子の入学も十分有り得ると考えている。いま、昇降口辺りに車椅子ごと乗るような大型のエレベーターを1台と、給食の配膳用ということで1台、合計2台のエレベーターを設置する計画となっているので、怪我をした場合や車椅子を利用しているお子さんがどこにでも行けるようにバリアフリーに配慮した設計を行っている。トイレについても、男女だけでなく、多目的トイレを各フロアにつくり、身体障害者やジェンダーの問題にも対応した、誰でも使えるトイレを考えている。

・うちの子が人工肛門をつけているので、就学する頃には外れる可能性もあるが、そういったことにも対応したトイレを作っていただければと思う。

→オストメイトと呼ばれる、人工肛門に対応したトイレの設置も考えていきたい。